

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

立候補意思表明書

平成 25 年 5 月 1 日

市川 孝

現在、JHFの監事と埼玉県連の理事・事務局長を務めている市川です。スカイスポーツに関わるようになったのは、15年ほど前にパラグライダーを始めてからで、現在は埼玉県下のスクールの手伝いを休日に行っています。

長年、公益社団法人日本広告審査機構に（略称、JARO）に務め、事務局長などを歴任し、現在は退職しています。同団体は広告・マスコミ業界の業界団体でありながら、苦情処理、適正化のための審査を長年にわたって公正・中立に行ってきたことから、公益性の高い団体として社会的な評価を受けています。

JAROの設立当初から約40年間、職員として総務部門、財務部門、渉外部門、広報部門を業務としてきましたので、公益法人の運営には詳しいものと考えております。

公益法人の運営は、多くの会員の意見が民主的に反映されることが重要となります。そのためJHFの監事は、事業と予算が公正で適正に執行されるように、厳しくチェックするのはもちろん、特に「公益社団法人」となり監事の権限も強化されましたので、公益性を高めていくための活動を見てまいります。なお、会費はフライヤーの方々から預けられたものですので、事業経費を有効に使用し、事業の合理化などによる管理費の削減を図ることも必要となります。

今後とも、スカイスポーツの安全性の向上と発展のために、JHFの監事として尽力いたします。